

## 令和3年度 [果実の概況]

本年の果実は、春先の霜害及び夏場の天候不順により、出荷量の少ない品目があります。みかんは生育もよく順調な出荷を見込んでいます。輸入品の一部商品において、海上輸送費の高騰を受け単価の上昇が見られます。昨年同様新型コロナの影響で業務向けの商材の動き鈍いですが、贈答需要と家庭消費の動きに期待しています。

果実概況担当 丸果旭川青果卸売市場 果実部 和田取締役（果実部直通48-3232・3233）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（K g 単価）	概況
		入荷量	市況		
みかん	愛媛・静岡・和歌山	並	並	400～300	安定的な出荷、価格前年並みの予想です。
りんご	青森・山形	減	高い	450～400	春先の霜害により出荷量減少。小玉傾向で単価高予想です。
いちご	茨城・宮城・福岡	並	やや高い	2300～1800	中旬以降出荷量減少、価格やや高め予想です。
干柿	長野・和歌山・山形・福島	減	高い	2500～2000	原料柿の減少から生産量減、高値予想です。
キウイ	和歌山、愛媛、ニュージー	減	並	600～500	国産は生育不良で減少しますが、輸入品は安定入荷です。
バナナ	フィリピン・エクアドル	並	並	300～150	入荷安定、価格前年並み予想です。
パイナップル	フィリピン	並	並	240～200	クリスマスに向けて入荷量増量、価格前年並み予想です。
グレープフルーツ	フロリダ・メキシコ	並	高い	350～270	輸送費の高騰を受け高値推移します。
オレンジ	オーストラリア	並	高い	300～250	輸送費の高騰を受け高値推移します。